

付属推薦・指定校推薦等合格速報

12月も下旬に差し掛かり、ほとんどの学校推薦型選抜の結果が発表されました。ここ数年の入試傾向から、全国的に推薦枠を増やす大学が多く、早めに合格を決める生徒が増えているのが実情です。

豊山高校でのここまでの学校推薦型選抜(付属推薦)と指定校推薦等の合格者数を発表します。現時点で高3生の9割近くが合格を決めています。

学校推薦型選抜(日本大学)			
学部	合格者数	学部	合格者数
法	52	生産工	21
文理	36	工	2
経済	48	医	1
商	27	歯	—
芸術	8	松戸歯	—
国際関係	2	生物資源科	37
危機管理	7	薬	5
スポーツ科	2	短大三島	1
理工	101	短大船橋	2

推薦の型	合格者数
指定校推薦	48
総合型選抜	19
公募推薦	8

【屋嘉比】

高1・2小論文テスト

先月号でもお知らせいたしました通り、令和5年1月11日(水)午後12時に高1・2年対象の小論文テストが実施されます。この日の午前中には錬成テストがありますので、大変な1日になるかと思いますが頑張らしましょう。

テスト内容としては、高1は「テーマ型小論文」、高2は「志望理由書」を書くことになります。高2生は事前に講師の方が作成して下さった指導動画を見てから、志望理由書を書いていくという流れになります。全員の答案を提出した後、講師に添削してもらったものが改めて届きますので、アドバイスを参考にしながらリライトを書いて終了となります。リライトは2月15日(水)3・4校時にを行います。

また、高1・2年それぞれ事前課題として書き方ノート、マスターノートを完成させておくが必要になってきます。提出期限は学年で異なりますので、改めて学年進路よりアナウンスをします。各課題を事前に完成させておかないとテスト当日苦勞することになると思います。不備のないように文量・内容ともにしっかりと記入しておきましょう。

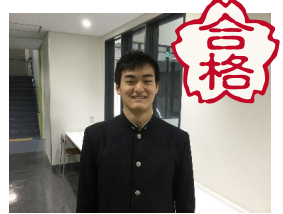
小論文・志望理由書ともに大学進学をする上で必要になるケースが多々あります。大学進学には様々な方式がありますが、小論文が合否判定基準に大きく関わることもありますので、この機会に小論文・志望理由書の書き方を身につけておきましょう。志望理由書についても、日本大学に付属推薦を使って出願する場合に必要な学部学科がありますので、他人事だと思わずに真剣に取り組んでください。



【福田】

速報 ～日大合格者の声～

日本大学付属推薦の合否発表が12月1日に行われました。今回は合格した生徒の中から水泳部前部長の武井律己君にご協力いただき、勉強や部活動のことなどについてインタビューをさせてもらいました。是非読んでみてください。



【インタビュー内容】

—いつごろから志望校を考え始めましたか？

武井 高2の後半です。豊山を卒業して日大に進学していった先輩方がインカレで活躍しているのを見て、自分も日大水泳部員として活躍したいと思うようになったのがきっかけです。

—他大受験を考えたことはありますか？

武井 少しはありました。ただ、自分のやりたいことを追求できるのは今しかないと思っているからその決断でした。

—勉強と部活動の両立はどのようにしていましたか？

武井 水泳部(Aチーム)は週6回の放課後の練習に加えて、朝練があります。そのため、夜に勉強時間を確保するのは厳しかったので、僕は通学中の電車内で勉強を行っていました。また、家で勉強する必要をなくすために人一倍集中して授業を聞いていました。

—日頃の勉強(授業や課題など)はどのようにしていましたか？

武井 あくまで学生の本業は勉強です。部活動を言い訳にして成績を落とすのは言語道断だと思っています。その意識を常に持って授業やテストに取り組んでいました。課題に関しては、休み時間を上手く活用して出来るだけ学校でやっていました。それでも終わらない分だけを家に持ち帰って取り組んでいました。

—受験に際して特に気を付けていたことはありますか？

武井 基礎学力到達度テストの対策は早いうちから行っていました。日大を受験するならこのテストや序列が非常に重要だからです。僕は最終的に付属特別選抜で通過したので、面接試験と小論文テストがありました。基礎学力到達度テストが終わってからはそれらの対策をみっちり行いました。

—入試において必要な力は何だと思いますか？

武井 アドリブ力だと思います。これは筆記試験にも面接試験にも言えることでいくら対策を積んでいても変化球が来た時に対応できないと大きく点を落としてしまうかもしれないからです。これを鍛えるのは難しいですが、日頃から知識を蓄えていくようにすれば頭の中の引き出しが増えて、臨機応変に対応できると思います。

—部活動をやっていて受験に役立ったことはありますか？

武井 日本大学を受験する際に面接試験があり、面接官からの質問で「高校時代に何か頑張っていたことはありますか」という質問がありました。そこで自信を持って回答できた時に部活動を続けてきてよかったと思いました。なにかひとつでも熱中できるものを持っていると、この先の人生の自信に繋がると考えています。—後輩に向けてメッセージをお願いします。

武井 大変かもしれませんが、今は面倒くさいことから逃げないでほしいと思います。ここでいかに踏ん張れるかでこの先の人生の選択肢が大きく変わります。身の丈に合ったレベルでいいので、何かひとつ目標を立ててそれに向かって努力を重ねていくことが重要だと思っています。頑張ってください！

【川原】

日大チャレンジ特別進学模試

2月6日(月)に実施を予定している「日大チャレンジ特別進学模試」について、案内をします。

次年度の4月に基礎学力到達度テストが行われますが、その前段階として実施される日本大学付属校向けの実力テストです。以下に高1・2年の試験範囲を示しますので、本番を意識して準備をしましょう。

高1は3教科・高2は4教科の受験となります。

2022年高校1年 日本大学付属高等学校等対象	日大チャレンジ模試 各科出題内容
----------------------------	-------------------------

英語	I. 聴き取りテスト II. 語彙(連語) III. 文法・語法 IV. 対話文 V. 語整序 VI. 読解空所補充 VII. 長文読解
数学	1. 小問集合(数学Ⅰ・A) 2. 数と式(数学Ⅰ) 3. 不等式(数学Ⅰ) 4. 2次関数(数学Ⅰ) 以下2問を選択 5. 確率(数学A) 6. 2次関数(数学Ⅰ) 7. 図形と計量(数学Ⅰ) 8. 図形の性質(数学A)
国語	I. 国語知識 II. 現代文(論理的文章) III. 現代文(文学的文章) IV. 古典(古文) V. 古典(漢文)

*大問構成は変更の可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

2022年高校2年 日本大学付属高等学校等対象	日大チャレンジ模試 各科出題内容
----------------------------	-------------------------

英語	I. 聴き取りテスト II. 語彙(連語) III. 文法・語法 IV. 対話文 V. 語整序 VI. 読解空所補充 VII. 長文読解英問英答
数学	1. 小問集合(数学Ⅱ) 2. いろいろな式(数学Ⅱ) 3. 図形と方程式(数学Ⅱ) 4. 三角関数, 指数・対数関数(数学Ⅱ) 5. 微分・積分の考え(数学Ⅱ) 6. 数列(数学B) 7. ベクトル(数学B)
国語	I. 国語知識 II. 現代文(論理的文章) III. 現代文(文学的文章) IV. 古典(古文) V. 古典(漢文)
物理	I. 物体の運動 II. 運動と力 III. 剛体 IV. 波 V. 熱 VI. 電気
化学	I. 物質の構成 II. 物質と化学反応式 III. 酸と塩基の反応 IV. 酸化還元反応 V. 溶液 VI. 固体・気体
生物	I. 細胞・生物の特徴 II. 生物を構成する物質 III. タンパク質のはたらき IV. 遺伝情報とDNA V. 遺伝情報の分配 VI. 体液 VII. 肝臓 VIII. 生物の体内環境の維持 IX. 植物の多様性と分布 X. 生態系とその保全
日本史	I. 原始～奈良時代 II. 平安時代 III. 院政期～鎌倉時代 IV. 文化史(原始～鎌倉時代) V. テーマ史(原始～鎌倉時代の範囲内)
世界史	I. 古代オリエント II. 古代ギリシア・ローマ III. 古代アジア(中国は殷～元) IV. イスラム世界 V. 中世ヨーロッパ VI. テーマ史(「内陸アジア世界・東アジア世界の展開」まで)
倫理・政経	I. 青年期の課題と自己形成 II. ギリシャ思想・中国思想 III. 世界の宗教 IV. 民主政治の基本原則と日本国憲法 V. 日本の政治 VI. 現代の国際政治
地理	I. 地形(地形図を含む) II. 気候と植生・土壌 III. 日本の自然と生活, 環境問題 IV. 農林水産業 V. 資源・エネルギー・工業 VI. 第3次産業, 交通・通信, 貿易

*大問構成は変更の可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

	高1	高2
朝礼・原票記入	8:25～8:45	朝礼・原票記入 8:25～8:45
英語(60分)	8:55～9:55	国語(60分) 8:55～9:55
国語(60分)	10:15～11:15	数学(60分) 10:15～11:15
数学(60分)	11:35～12:35	英語(60分) 11:35～12:35
午後授業なし(予定)		理・社(60分) 13:05～14:05

この模試では、自分の志望する学部・学科を2つまで書くことができ、同じ学科を希望している生徒の中で現状何位にいるのかを知ることができます。この模試を受けるのは付属26校すべてではありませんが、現状を把握する材料にはなるはずですよ。

高校1年生はまた志望する学部・学科が決まっていない生徒も少なくないと思います。自分の選択した科目に係る学部・学科を調べて、当日記入できるようにしておきましょう。

～共通テストに向けて～

①【前日までに行えること】

・病気予防だけでなく、早寝早起も心がける。最初の試験から冴えた頭で臨めるような生活リズムを作っておく。

・会場までの経路(電車の発車時刻, 乗り換え駅の構内図, 会場までの道程など)を把握しておく。交通機関の遅延を見越して、試験開始の約1時間前には会場へ到着するように検索する。複数パターンを経路を想定しておく、咄嗟の行動を取り易い。季節がら降雪も有り得るので、気象・交通情報を前日からチェックする。

・持ち物は前日まで揃えておく。次に挙げる物をベースに、自分に必要な物を加える。

受験票・写真票/「受験上の注意」/鉛筆(複数)/消しゴム(複数)/鉛筆削り/腕時計(辞書・電卓・通信等の機能が無い物)/携帯電話(試験中は必ず電源オフ)/生徒証/交通系ICカード(十分にチャージしておく)/現金/昼食・補食(チョコレート等)/コンタクト使用者)念の為のメガネ/マスクの予備/(必要な会場ならば)上履き・靴を入れておく袋

②【当日や共通テスト後の過ごし方】

・**当日の休み時間**焦って前の時間の正解を確認しない。次の時間への備えを最優先する。トイレは混雑しがちなので、数ヶ所把握しておくが良い。

・**14日の夜**自己採点したい気持ちをぐっと我慢して、翌日の試験に向けて心身のコンディションを整えることに集中。

・**自己採点后**たとえ思うような結果でなかったとしても、メンタルブレイクしているわけではありません。むしろ、2月の私大入試や国公立大2次試験こそが本番です。“現役生は前日まで伸びる”を信じてたくましく頑張ってください。

【竹原】

1月の進路行事

月

1月11日(水) 小論文テスト (高1・高2)	日
1月14日(土) 15日(日) 大学入学共通試験(高3)	()
※共通テスト同日体験外部受験(高1・高2特進希望者)	
1月16日(月) 共通テスト自己採点 (高3)	()
1月22日(日) 全統模試(校外) (高1特進)	日直
全統記述模試(校外) (高2特進)	

【日大N方式】1月10日(火)始業式に、日本大学N方式第1期の出願手続きをコンピュータ教室②で行います。学部をまたいで最大15学科を付属生は無料で併願できるので、付属生にとって大変有利な制度です。なお、受験を希望する生徒は、事前にネット上でマイページ(要写真データ)の登録が済んでいることを確認しておいてください。

【大学入学共通テスト自己採点】1月14日,15日で行われる共通テストの翌日16日は自己採点となります。受験生は、河合塾, 東進ゼミナール, 駿台・ベネッセコーポレーションの3つの塾のシステムにオンラインで登録して自己採点を行うので、判定結果を1月18日(水)に知ることができます。一日でも早い結果を見て、どこの大学を受験するか決定できるようにしましょう。

【屋嘉比】

